

調査依頼書 (AT-13E1-10)

年 月 日

一般事項

1. 御社名：
 部署名：
 ご連絡先住所：〒
 TEL： ()
 FAX： ()
- ご担当者：
 購入年月日：
 連絡先 (TEL)： ()
2. 購入先：
 購入先担当者：

ハードウェアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウェア機種 (製品名)、シリアル番号 (S/N)、リビジョン (Rev)

製品名： AT-13E1-10



2. お問い合わせ内容

- 別紙あり 別紙なし
設置中に起こっている障害 設置後、運用中に起こっている障害

3. ネットワーク構成図

- 別紙あり 別紙なし
 簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

AT-13E1-10 ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM1300 シリーズ AT-13E1-10 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、AT-1331-10 専用のリダundant電源モジュール (Redundant Power Supply) です。停電、電源ケーブルの断線、電源ユニットの故障といった電源障害による AT-1331-10 の機能停止を防ぎます。このユーザーマニュアルをお読みになり、正しい設置を行ってください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。

1 特長

- AC100V-240V に対応
- AT-1331-10 の動作中に着脱可能なホットスワップ機能
- AT-13F1 本体前面の LED で動作確認可能

2 梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかどうか確認してください。また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包することが望まれますので、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

- AT-13E1-10 本体
- 製品保証書
- 電源ケーブル
- シリアル番号シール (2 枚)
- 製品仕様書 (英文)
- ユーザーマニュアル (本書)

3 各部の名称と機能

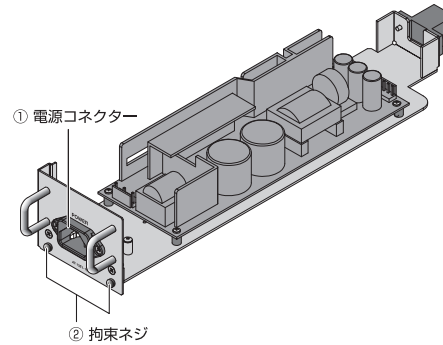


図 1 AT-13E1-10 外観図

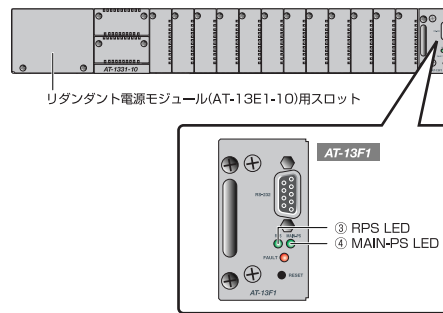


図 2 AT-1331-10 (前面) 外観図

■ AT-13E1-10 リダundant電源モジュール (本製品)

- ① 電源コネクタ
電源ケーブルを接続するためのコネクタです。
- ② 拘束ネジ
AT-1331-10 に装着し、固定するためのネジです。

■ AT-13F1 スペアファンモジュール (別売)

- ③ RPS LED
本製品から電源が供給されているときに点灯します。本製品から電源が供給されていないときに消灯します。
- ④ MAIN-PS LED
AT-1331-10 の内部電源から電源が供給されているときに点灯します。電源ケーブルが正しく接続されていないか、指定した電源電圧が使用されていない場合、消灯します。

RPS と MAIN-PS の両方の LED が点灯している場合は、AT-1331-10 本体が本製品と内部電源の両方の電源供給で動作していることを示します。



安全のために

必ずお守りください



警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。

分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。

雷のときはさわらない

異物を入れない 水は禁物
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異物厳禁

通風口はふさがない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

通風口はふさがない

湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気のあたる場所には置かない
火災や感電の原因となります。

設置場所注意

表示以外の電圧では使用しない
火災や感電の原因となります。本製品はAC100V-240Vで動作します。なお、本製品に付属の電源ケーブルは100V用ですのでご注意ください。

電圧注意

正しい電源ケーブル・コンセントを使用する
不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。

3ピンコンセント

電源ケーブルを傷つけない
火災や感電の原因となります。

電源ケーブルを傷つけない

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たご足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。

プラグを抜け

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所 (結露するような場所)
- ・湿気が多い場所や、水などの液体がかかる場所 (湿度 80% 以下の環境でご使用ください)
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所 (静電気障害の原因となります)
- ・腐食性ガスの発生する場所



静電気注意
本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

静電気注意

取り扱いはいはていねいに
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

取り扱いはいはていねいに

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因となります。

清掃するときは電源を切った状態で

機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤 (中性) をしみこませ、軽く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

乾いた柔らかい布で拭く

ぬらすな 中性洗剤 使用 強く絞る

お手入れには次のものは使わないでください
石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん (化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)

シンナー類 禁止

4 装着のしかた

本製品はホットスワップ機能に対応していますので、使用中の AT-1331-10 に本製品を装着・交換する際に AT-1331-10 の電源を切る必要はありません。

1. AT-1331-10 前面のリダナント電源モジュール用スロットのカバーパネルの拘束ネジをドライバーで緩めて、カバーパネルを外してください。

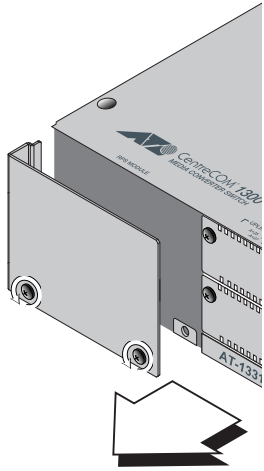


図3 カバーパネルの取り外し

2. 本製品をスロットのボードガイドに沿って差し込みます。本製品前面のパネルが AT-1331-10 前面のパネルと揃う位置まで押し込み、拘束ネジを締めてください。

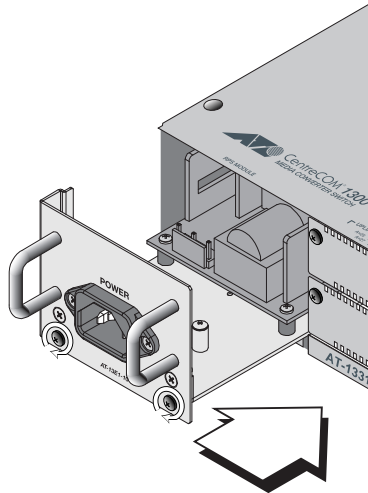


図4 本製品の取り付け

5 電源ケーブルの接続

電源ケーブルのコネクター側を本製品の電源コネクターに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込んでください。

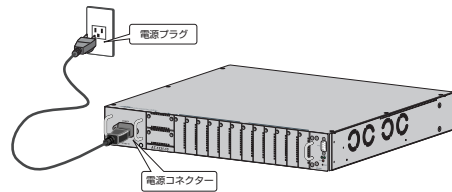


図5 電源ケーブルの取り付け

AT-1331-10 に本製品を装着して電源を二重化した場合には、それぞれ別の系統の電源供給元に接続してください。

! 電源プラグを電源コンセントに接続したまま電源コネクターを抜かないでください。感電事故を起こす恐れがあります。

! 本製品には高電圧の箇所が存在します。感電の恐れがありますので、絶対に内部の部品に手など触れないでください。

6 トラブルシューティング

「故障かな？」と思われる前に、以下のことを確認してください。

● AT-13F1 スペアファンモジュールの RPS LED は点灯しますか？

RPS LED が点灯しない場合は、AT-13E1-10 が AT-1331-10 に正しく装着されているか、AT-13E1-10 に接続した電源ケーブルが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

本製品の動作状況は、LED による確認以外に AT-1331-10 に接続されたコンソールターミナル上で確認することができます。詳細は AT-1331-10 に付属のマニュアルを参照してください。

7 製品仕様

電氣的仕様	
定格入力電圧	AC100V-240V
入力電圧範囲	AC90 ~ 264V
定格周波数	50/60Hz
定格入力電流	3.6A
最大入力電流 (実測値)	0.99A (AC90V)
平均消費電力	79W (最大 88W)
平均発熱量	285kJ/h (最大 319kJ/h)
環境条件	
動作時温度	0 ~ 40℃
動作時湿度	80% 以下 (ただし、結露なきこと)
保管時温度	-20 ~ 60℃
保管時湿度	95% 以下 (ただし、結露なきこと)
外形寸法 (突起部含まず)	
	81 (W) X 380 (D) X 63 (H) mm
質量	
	約 1.0 kg
サポート規格	
安全規格	UL60950

8 保証

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。

● 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

9 ユーザーサポート

本体の故障などのユーザーサポートは、「製品保証書」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。FAX でご連絡いただく場合は、裏の「調査依頼書 (AT-13E1-10)」をコピーしたものに必要事項をご記入のうえ、下記のサポート先に FAX してください。

記入内容の詳細については、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

○ アライドテレシス サポートセンター

Tel : ☎ 0120-860-772
月～金曜日 (祝・祭日を除く) 9:00 ~ 12:00
13:00 ~ 18:00

Fax : ☎ 0120-860-662

年中無休 24 時間受け付け

10 調査依頼書のご記入にあたって

「調査依頼書」は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。迅速に障害の解決を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、次の点にそってご記入ください。

記入用紙に書ききれない場合は、プリントアウトなどを別途添付してください。

● ご使用のハードウェア機種について

製品名、製品のシリアル番号 (S/N)、製品リビジョン (Rev) を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンは、製品の底面に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。

(例) 

● お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に (再現できるように) 記入してください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

● ネットワーク構成図について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

11 おことわり

- 本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 2003 アライドテレシス株式会社

12 商標

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

13 マニュアルバージョン

2003 年 5 月 Rev.A 初版